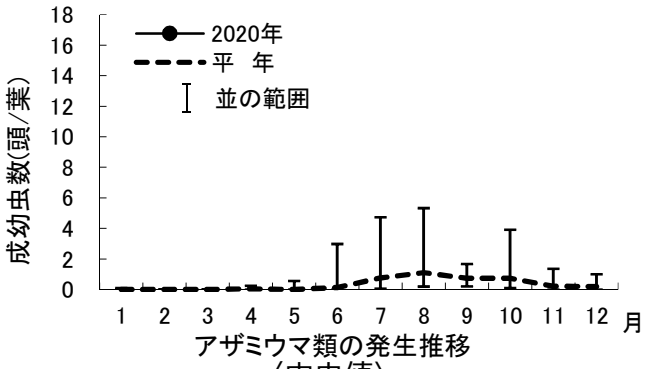
令和　2 年度　　4 月予報

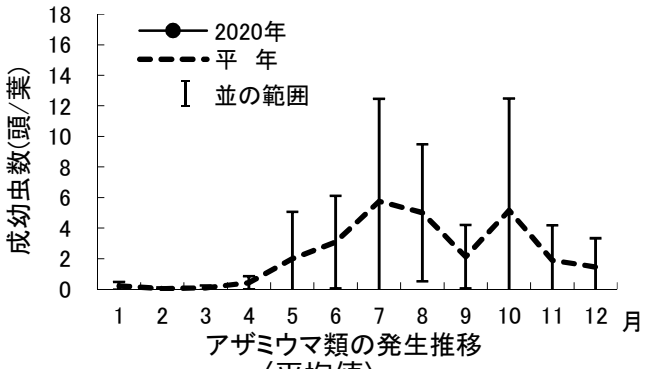
| 作物 | マンゴー | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | チャノキイロアザミウマ | | |
| 予報 | 4 月の発生量（平年比） | ― | |
| | 3 月からの増減傾向 | ― | |
| 予報の根拠 | 3 月の発生量（平年比） | ― | |
| | その他<br>(気象要因など) | ― | |

調査結果

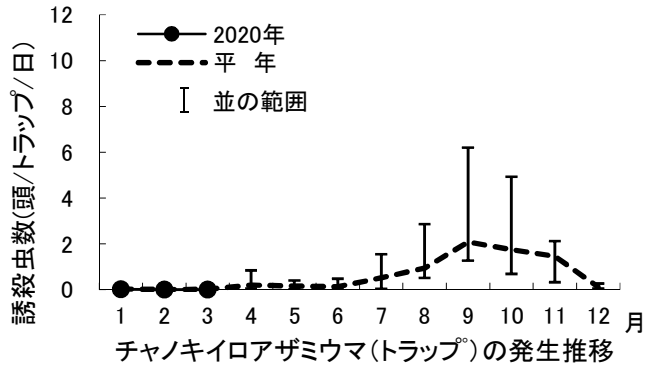
（見取り調査）　〈中央値〉



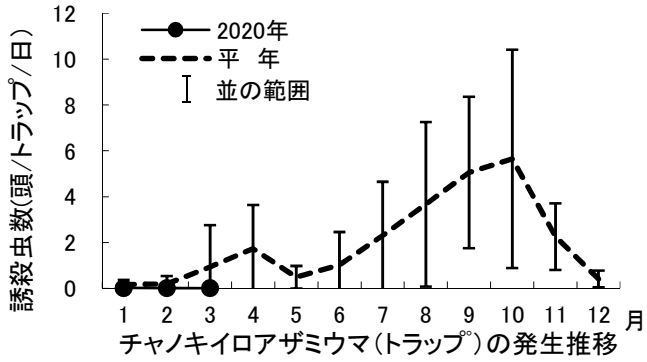

〈平均値〉




（トラップ調査）　〈中央値〉




〈平均値〉




・見取り調査は、新梢数が基準に満たなかったため3月のデータなし

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・キダチコミカンソウなど、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

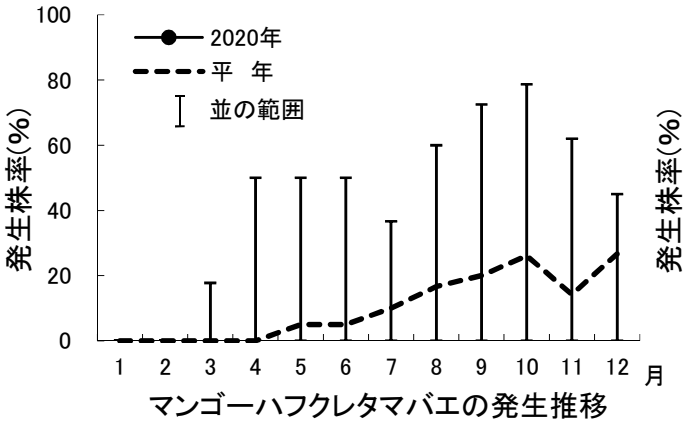
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　4 月予報

| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | マンゴーハフクレタマバエ | | | |
| 予報 | 4 月の発生量（平年比） | ― | | |
| | 3 月からの増減傾向 | ― | | |
| 予報の根拠 | 3 月の発生量（平年比） | ― | | |
| | その他<br>(気象要因など) | ― | | |

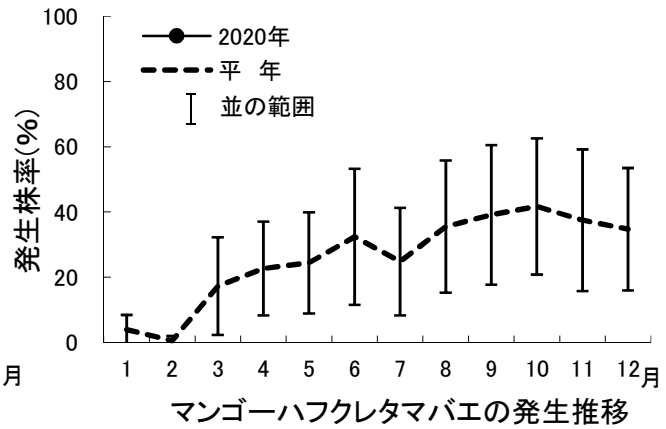
調査結果

〈中央値〉




マンゴーハフクレタマバエの発生推移

〈平均値〉




マンゴーハフクレタマバエの発生推移

- 新梢数が基準に満たなかったため3月のデータなし
- 発生ほ場率：平年37.1%

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

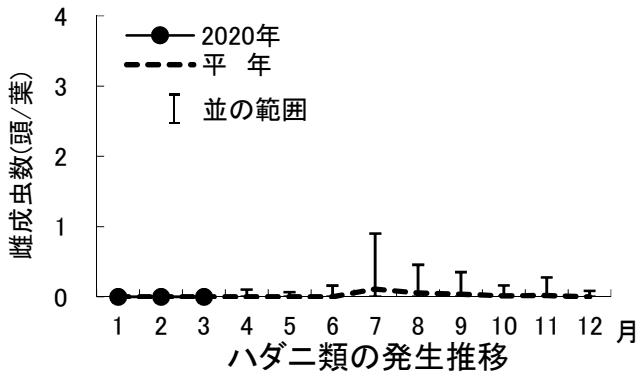
・不要な新梢は、ほ場外に除去する。

令和　2 年度　　4 月予報

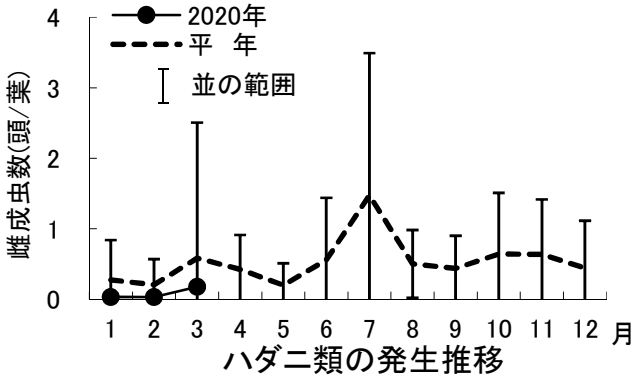
| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① ハダニ類 | | シュレイツメハダニ | |
| 予報 | 4 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| | 3 月からの増減傾向 | → | | |
| 予報の根拠 | 3 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| | その他 (気象要因など) | 今後１か月の気温が平年より高い見込み | | |

調査結果

〈中央値〉




〈平均値〉




- 発生種：シュレイツメハダニ
- 発生施設率：25%（平年27.7%）
- 新梢での寄生雌成虫数：新梢数が基準に満たなかったため3月のデータなし

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症